

# 断章 旭川のアイヌ語 地名研究 (8) 高橋 基

高橋 基

加へ遂ニ御料地ノ域ヲ跡ヘ「べへ」岳ニ達シテ止ム。其広サ南北六里東西二里（後略）。



### 附录二 考古报告

今号の地図は、明治三十三年に第  
七師団司令部の作成した『上川地方  
迅速図』で、地図上に初めて『神楽丘  
丘』が掲載された地図である。第四回  
で紹介した、明治三十一年製版  
『仮製五万分図』と比較すると、い  
かに詳細な地図かが歴然としてい  
る。また、この『仮製五万分図』で  
は、「神楽丘」とほぼ同位置に、後  
述する「ナエオサニ」と同義の「ナ  
ヨサニ」のアイヌ語地名が記されて  
いたことも再記しておきたい。今号  
では、アイヌ語地名の「ナエオサニ」  
と「ヘツチエウシ」の位置を特定し  
たい。

まず、「上川離宮」（離宮——皇居と  
は別の所に建てる宮殿。桂離宮、赤

坂離宮などがある) 設定計画施行の  
通達に対する 明治二十四年の北海  
道庁の「上川離宮調査復命書」の十  
三の調査項目の第一項目の冒頭部  
分のみを紹介する。

—神楽と神楽岡の名称(中)—

(アイヌ語地名研究会幹事)